

【二月の言葉（令和五年）】

便利さは、

〃昭和〃 ぐらいがちょうどいい

先日の新聞に右の川柳が載っていました。

私も同感しました。もうこれ以上便利にならなくていい。本当に昭和の後半ぐらいが丁度いいのではないかと思います。

生活をするには便利な方がいいに決まっています。しかし便利になれば人間は横着になるし、私たちを生かしている「見えないいのちのはたらき」を見失い、ますます自我中心になります。人間は自分を見失えば自我中心にしか生きられません。

「生かされているいのち」を感じていきましよう。いつたん立ち止まって振り返り、何が大切かを見つめ、絶えずその時代を見つめ直していくべきです。

ある雑誌に「同年代 昭和が良かったとみんな言う」という川柳もありました。